


児童虐待・DV防止の取り組み（かながわSDGsパートナー）		取組開始時期	令和2年6月	取組の カテゴリ	男女共同参画・機会の平等
1. 団体名	アロマクエスト株式会社	2. 連携先の 団体	神奈川県福祉子どもみらい局		
3. 取組 目的	コロナ禍でのストレスや不安などに起因する児童虐待やDVの防止		4. 関連する ゴール		

5. 取組詳細（取組内容の詳細及び取組によって得られた成果、今後の方向性等）

新型コロナウイルスの影響による生活や環境の変化から、ストレスや不安などに起因する児童虐待やDVの発生が懸念されます。そこで神奈川県では、コロナ禍において、テレワークやオンラインショッピングの増加など新しい生活様式を見据え、児童虐待やDVの相談窓口、防止に向けた啓発資料などを、より生活に身近なところでお伝えできるよう、「かながわSDGsパートナー」企業と協力して、取り組んでいます。

アロマクエスト株式会社は、「かながわSDGsパートナー」として神奈川県と連携し、DVの気付きを促す「DVまんが」をホームページに掲載しています。
<http://www.aromaquest.jp/>

また、ネットショッピングなどによる神奈川県内購入者に「DVまんが」を同梱しています。特に、アロマクエストが扱う商品は、香り商品（リードディフューザー）であるため、女性購入者が多いのも特徴です。



DVまんが



アロマクエスト(株)のリードディフューザー
アールグレイティーの香り

取組のポイント（3つの視点）

地方創生SDGsの視点

神奈川県は、クルーズ船が寄港したことにより、当初から多くの知見を有し、コロナ対策モデル都市となりうるべく、多くの施策を実行しています。本事業も、官民連携し、コロナ禍での児童虐待、DV防止に向けた啓蒙活動の一つになっています。

ステークホルダーとの連携

《かながわSDGsパートナー制度》
SDGsの推進に資する事業を展開している企業・団体等の取組事例を県が募集・登録・発信するとともに、県と企業・団体等が連携してSDGsの普及啓発活動に取り組む制度。

モデル性・波及性

本事業を発端とし、現在、かながわSDGsパートナーと、里親制度の普及推進に向けた連携を計画しています。

自由記述欄

・連携先の団体からのコメント（神奈川県福祉子どもみらい局人権男女共同参画課より）

県からのお声がけに快くお応えいただき、多大なご協力をいただいたアロマクエスト株式会社様に、心よりお礼申し上げます。

コロナ禍の中、夫婦やパートナーと一緒に過ごす時間が増え、より二人の関係が深まったという方々がいる一方、相手に対する不満やストレスなどによるDVは、引き続き、懸念されるどころです。

DVは、殴る蹴るといった身体的暴力だけでなく、暴言を吐く、生活費を渡さない、友人などの付き合いを制限する、性行為を強要するなども該当します。今回啓発にご協力いただいている「DVまんが」は、被害者・加害者のみならず広く県民の皆様に、何がDVであるのかをあらためて知っていただき、受けている（行っている）暴力がDVであるという「気づき」を促すものです。

気軽に手に取っていただけるよう工夫して作成したものであり、今回、ホームページへの掲載と併せて、直接「DVまんが」も同梱していただいたことについては、重ねて感謝申し上げます。

・取組に関連するホームページのURL 等

<http://www.pref.kanagawa.jp/documents/16737/sdgs.pdf>